

## 25 パリの古い病院

今泉 孝

## はじめに

パリには数多くの病院がこれまで存在し、特に一七世紀以後の大病院はよく知られているが、それ以前のものとなるとオテル・デイユを除いてあまり紹介されることがない。そこで一六世紀末までの病院を文献からさがし、その位置を確認して、病院名の変遷やその綴りの変化、さらに設立の経緯や目的など説明的事項も加えて一覧表の形で示したい。

## 方法

PARIS D'HOSPITALITE (PICARD EDITION, 1990)には一三世紀以後のパリの病院をその名前とおおよその位置を各世紀ごとに図示してあり、一部には設立年度も記してあるのでこれを基本的資料とした(三三病

院を含む)。おおまかな位置がこれによって確認されるが、さらにパリの古地図を集めた『パリ都市地図集成』(柏書房、一九九四年、一五三〇年頃から一八〇八年までの一種類のパリの地図を収載)によりそれらの病院の位置、名前の変化、綴りの変化を確認した。そのほか手持ちの資料をいくつか参照して、更に三病院をそれらに加えた。

## 結果

病院数としては一三世紀末までのものが一三、一四世紀末までが一、一五世紀から一六世紀末までが一、で合計三六病院であった。病院名にはSaint(①)がつくものが半数以上あり、教会と関係あるものが大多数である。したがって、大部分がパリの市壁内に存在するが、Le Proserieは当然のことながら市壁外に配置されている(四病院)。病院数をセーヌ川の左岸と右岸とで比べると、右岸にやや多い程度であり、一七世紀や一八世紀に左岸に圧倒的に集中するのは対照的である。

病院名については、複数の名前と呼ばれていたたり、徐々に変化しているものがある。例としてHôpital de Lourcine (= Hôpital de Saint-Marcel) →

Charité chrétienne (= la Charité) →  
 Commanderie de Sainte-Valère (= Maladrerie Sainte-Valère)

病院名の綴りは年代とともに変化しており、オテル・デュエを例にとると、*Hôtel Dieu*, *LOSTEL DIEV*, *LOTEL DIEV*, *Hôtel Dieu*, *Hofel Dieu*, *HOTEL DIEU* として現在の *Hôtel-Dieu* に至る。

異なった病院が同じ名前と呼ばれていることがある。

例として、*Hôpital de la Miséricorde* (= *Hôpital Saint-Marcel*) は、*Hôpital de la Miséricorde* (= *Notre-Dame de la Miséricorde* = *les Cent-Filles*) と誤りやすい。また、前述の *Lourcine* は、*les Cordelières de Saint Marcel* → *Hôpital de Lourcine* → *Hôpital Broca* と混同しやすい(位置的に近いため)。

同一の病院が移転にともなって所在地が変わる場合がある。例として *les Quinze-Vingts* は、現在のパリの区分で示せば、四区から二二区へ移転したことになる。

#### 結語

パリの病院のうち一六世紀末までに存在した三六病院

について、その名称の変化、所在地、などを調べた。これらの大部分は言及されることが比較的少ない病院であり、名称も錯綜しており、混同しないように注意が必要と思われる。

今回取り上げた病院以外にもまだ追加すべき病院があるだろうし、病院名のみで詳細不明のものも六病院あるが、今後さらに調べて補足したい。

(なお、詳細は一覧表にして学会場にて配布する予定である。)

(弘前市・今泉皮ふ科)